

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	論理国語
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	大修館書店『新編論理国語』[論国706]
3	必修	2	60	補助教材	『新編論理国語 学習ノート』
授業の概要		創造的・論理的思考力を育成する科目として、実社会において必要となる、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質・能力を育成する。			
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。			
求められる力 (目指す生徒像)		漢字の読み書きをはじめ、高校生に必要な語彙力を身につけている。 論理的な文章を書いたり、批判的に読んだりすることができる。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	活動観察	ワークシート	学習ノート	課題提出		合計
知識・技能			30		70		100
思考・判断・表現				30	70		100
主体的に取り組む学習態度	50	50					100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	志望先への提出書類	志望理由書や自己推薦書を書くために必要となる語句を調べ、語彙を豊かにする。 進路活動に必要な書類の情報を収集、整理して、必要となる書類を把握する。 進路で必要とされる書類について、積極的に知る。	○	○	○
5月	自分を客観的に見つめよう	自分のこれまでの経験と、そこから得たことを適切にまとめる。 自分自身を客観視した上で、その結果を自己分析シートに盛り込む。 積極的に自己分析シート作りに取り組み、客観的に自分自身を見つめる。	○	○	○
6月	根拠を吟味しよう	主張を支える具体例の妥当性や因果関係について理解する。 主張と根拠の関係を吟味する。 積極的に学習に取り組み、教科書の文章における主張と根拠の関係を吟味する。	○	○	○
7・8月	複数の文章を比較し、分析しよう	それぞれの文章の内容をふまえて、共通点や相違点をまとめる。 3つの文章を読んで、その共通点や相違点をまとめ、自分なりに考えたことを書く。 複数の文章を読み比べ、それぞれの文章の共通点・相違点などを分析する。	○	○	○
9月	話し合って考えを深めよう	自分の立てた問いに合致するかという視点で、収集した情報を取捨選択する。 相手の意見を聞き、自分が興味を持ったテーマを調べるための問いを立てる。 関心をもったテーマについて、問いを立て、調査をとおして自分の考えを広げる。	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	身近な課題に取り組み、社会に提言しよう	興味をもったテーマについて情報収集し、それらを自身の課題において整理する。 様々な資料を比較・検討しながら、自身の課題やその解決策について考える。 自身が設定したテーマについて積極的に調査を進め、具体的な課題を見つける。	○	○	○
11月・12月・1月	問いを立てて書こう — テーマ型小論文 文章を読んで書こう — 課題文型小論文 統計資料を読んで書こう — データ型小論文	課題文の内容と自分の主張との関連を示しながら、考えを展開する方法を理解する。 課題文への自分の立場や論点を明確にし、適切な根拠を示す。 これまでの「書くこと」の学習をもとにして、課題文からの確に論点を見だし、自分の主張を展開する。	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	文学国語			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	大修館書店『新編文学国語』[文国705]			
3	必修	2	60	補助教材	『新編文学国語 学習ノート』			
授業の概要		文学的な感性や情緒を育成する科目として、深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする資質・能力を育成する。						
学習到達目標		言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。						
求められる力 (目指す生徒像)		漢字の読み書きをはじめ、高校生に必要な語彙力を身につけている。 筆者の考え方や登場人物の心情を理解して、自分の思いや考えを深めることができる。						
観点別評価(%)								
	授業姿勢	活動観察	小テスト	単元テスト	課題提出	ワークシート	定期試験	合計
知識・技能			20	30			50	100
思考・判断・表現					20	30	50	100
主体的に取り組む学習態度	50	50						100
年間学習計画(前期)								
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点					
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度			
4月	クルミの小部屋	筆者の表現や家族の言動から、心情の機微を想像する。 特徴的な文体や工夫を適切に抜き出し、筆者とその家族の心情の機微を理解する。 随想の分析を通して、表現の工夫と効果を理解し、心情の機微をとらえる。	○			○		○
	桐壺	本文を読むことを通して、宮中での身分社会について理解する。 光源氏誕生の前後に周囲がどのような状況であったか理解する。 当時の女性貴族の身分・階級について確認し、「ましてやすからず」の理由を考える。	○			○		○
6月	若紫	垣間見を通して、光源氏が女子をどのように評価しているかを理解する。 少女の様子を読み取り、「ゆかしき人」は誰のことかを読み取る。 光源氏が女子を垣間見て涙を落とした理由を読み取る。	○			○		○
7・8月	待合室	本文中の常用漢字や語句の意味を理解する。 登場人物の人物像をそれぞれ読み取る。 内容や登場人物の言動などについて自分の意見や感想を書く。	○			○		○
9月	山椒魚	翻訳調で漢語を多用した独特の文体で表現されていることを理解する。 時間の経過とともに山椒魚の気持ちなどがどのように変化しているか読み取る。 寓話という表現形式に関心をもち、その特徴や効果について理解する。	○			○		○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	四面楚歌	作品を通して「四面楚歌」の意味を理解する。 項王の置かれた状況と心情を、具体的な描写をふまえて読み取る。 項王が漢詩に込めた心情を読み取る。	○	○	○
11月	私たちの黄色／タイムリミット	文章の種類や特徴などを把握し、辞書的な語句の意味を理解する。 3つの話それぞれの内容を理解し、3編全体が一つの話であることを把握する。 共通点と相違点に関心をもつとともに、「タイムリミット」の二人の心情を理解する。	○	○	○
12・1月	共感と驚異 短歌・俳句に親しむ	人を感動させる短歌には、共感と驚異の要素が必要であることを理解する。 筆者がどのように短歌を解釈しているか、具体的な描写を確認する。 筆者の分析の観点をふまえ、短歌のどのような点が人を感動させるのかを考える。	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		国語		科目名	実用国語
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	
3	選択	2	60	補助教材	改訂版プレゼミ総合国語（浜島書店）
授業の概要		辞書やIT機器を活用しながら、問題集での演習を通して語彙を増やしたり、目的や場に応じた言葉遣いや文体を身に付けたりすることで、表現する能力を向上させる。			
学習到達目標		言葉の持つ意味を正確に理解し、組み合わせながら自分の考えを的確に表現できる。現代用語や慣用句などを巧みに取り入れた効果的な表現ができる。			
求められる力（目指す生徒像）		さまざまな場面で使用し得る基本的な語彙や言い回しを実用的に用いる力。主体的に学習ツールを用いて調べたり、まとめ伝える力。			

観点別評価（％）								
	小テスト	授業姿勢	提出物	単元テスト	定期試験			合計
知識・技能	10			40	50			100
思考・判断・表現			10	40	50			100
主体的に取り組む学習態度	20	50	30					100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	・チェックリスト基本編（小テスト） 同音異義語・対義語 慣用句・ことわざ	相手に伝えることを意識して、正しい字形でわかりやすい文章を書く。		○	○
5月	・プレゼミ総合国語基本編（第1回～第4回）	辞書やIT機器を用い、語句の意味や使用方法を調べることで、語彙の理解と定着をする。	○		○
	・プレゼミ総合国語対策編 第2回 場にふさわしい言葉遣い（敬語表現）	敬語表現を正しく理解し、使用する。		○	○
6月	・チェックリスト必修編（小テスト） 熟語の読み書き、熟字訓	正しい筆順や楷書で文字を書き、正しい字形を身につける。	○		○
7・8月	・プレゼミ総合国語基本編（第5回～第8回）	書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に生かす。		○	○
	・プレゼミ総合国語対策編 第3回 手紙の書き方Ⅰ（暑中見舞い）	様々な通信文の形式、形態について理解する。	○		○
9月～10月	・チェックリスト完成編（小テスト） 同訓異字、難読語 ・プレゼミ総合国語必修編（第1回～第4回）	辞書やIT機器を用い、語句の意味や使用方法を調べることで、語彙の理解と定着をする。		○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	・プレゼミ総合国語対策編 第4回電話の応対	場面にふさわしい言葉遣いを考える。適切な言葉遣いでロールプレイをする。		○	○
11月	・チェックリスト完成編（小テスト） 四字熟語	正しい筆順及び楷書で文字を書くことで、正しい字形を身につける。	○		○
12・1月	・プレゼミ総合国語必修編（第5回～第8回）	様々な通信文の形式、形態について理解する。	○	○	○
	・プレゼミ総合国語対策編 第3回手紙の書き方3（年賀状）	言葉への興味・関心をもち、積極的に問題集に取り組む。			○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名	国語	科目名	古典講読
学年	必修／選択	単位	総時数
3	選択	2	60
授業の概要	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方から自分の思いや考えを広げたり深めたりする。		
学習到達目標	古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。		
求められる力 (目指す生徒像)	目標を持ち、自らの意思で前向きに取り組むことができる。 与えられた課題や宿題などに進んで取り組み、不明な点を調べて解決できる。		

観点別評価(%)								
	活動評価	課題提出	単元ワーク	定期試験				合計
知識・技能		30	30	40				100
思考・判断・表現	40	30	30					100
主体的に取り組む学習態度	40	30	30					100

年間学習計画(前期)						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	世説新語	【読むこと・書くこと】社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする		○	○	
5月	捜神記	【読むこと・書くこと】社会観、自然観を読み取り、自己の感じ方や考え方を豊かにする		○	○	
6月	御伽草子 定期試験	【読むこと・書くこと】登場人物の言動を通して、古人のものの見方や考え方をとらえる。 【読むこと・書くこと】	○	○		
7・8月	伊曾保物語	【読むこと・書くこと】説話の多様性と展開について知る。		○	○	
9月	三国志 三顧の礼 定期試験	【読むこと・書くこと】漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。 【読むこと・書くこと】	○	○		

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	三国志 赤壁の戦い	【読むこと・書くこと】漢文に親しみ、歴史物語のおもしろさを味わう。		○	○
11月	伊勢物語 筒井筒 定期試験	【読むこと・書くこと】登場人物の行動を的確に読み取り、話のおもしろさを理解する。	○	○	○
12・1月	伊勢物語 東下り 定期試験	【読むこと・書くこと】登場人物の行動を的確に読み取り、話のおもしろさを理解する。	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		地理歴史		科目名	地理探求
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新詳地理探求(帝国書院)
3	選択	3	90	(教科書扱い)	新詳高等地図(帝国書院)
授業の概要		・ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、オセアニア、日本の地誌について概観する ・世界の気候を大まかに理解し、気候変動が与える影響についても考えさせる			
学習到達目標		・2年生の学習を踏まえ、世界各地の地誌について、作業も行い理解を深めさせる ・日本を含めた気候を大まかに理解し、昨今の気候変動についても考えさせる			
求められる力 (目指す生徒像)		基本的な地理知識を理解する読解力と文章を比較・検討して考察する力を身につける。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	課題提出	活動評価				合計
知識・技能	70						70
思考・判断・表現		20					20
主体的に取り組む学習態度			10				10

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1部 系統地理 第1章 自然環境 地球環境と人間・地形・気候	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
5月	第2章 資源と産業 農林水産業・食料・資源問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
6月	第3章 交通・通信と観光・貿易 交通通信・観光・貿易と経済圏	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
7・8月	第4章 人口、村落・都市 人口問題・都市問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
9月	第5章 生活文化、民族・宗教 衣食住・民族問題・国家の領域と 領土問題	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2部 地誌 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 中国・韓国・ASEAN諸国	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
11月	インド・西アジア・アフリカ	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
12・1月	EU・ロシア・アメリカ合衆国 ラテンアメリカ・オーストラリア 第3部 現代世界における日本の 国土像	ワークシート 講義を聞くこと ノートにメモすること 問題を解くこと	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		地理歴史		科目名	日本史探究
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高等学校 日本史探究（第一学習社）
3	選択	2	60	補助教材	日本史探究ノート（第一学習社）
授業の概要		日本の歴史のおおよその流れを理解し、基礎・基本的な内容を身につける。あわせて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題追求する活動を通して公民としての資質・能力を育成する。			
学習到達目標		複数の歴史的な事象を比較して、その歴史的背景、原因、影響や結果を整理し、考察できるようにする。 過去の事象を学ぶことによって現代の課題を解決する手がかりを見つけ、自分なりの見通しを			
求められる力（目指す生徒像）		基本的な歴史用語を理解する読解力と文章を比較・検討して考察する力を身につける。			

観点別評価（％）								
	定期試験	単元テスト	提出物	授業姿勢				合計
知識・技能	90	10						100
思考・判断・表現	60	10	20	10				100
主体的に取り組む学習態度		40	30	30				100

年間学習計画（前期）						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	第3章 近世の日本と世界	講義を聞いて、ノートを取ることに	○			
	第3節 幕藩体制の展開	探求ノートに取り組むこと		○	○	
	第4節 社会の変化と幕府の対応	グループワークに参加すること		○	○	
5月	第4章 近現代の地域・日本と世界	講義を聞いて、ノートを取ることに	○			
	第1節 近代への転換	探求ノートに取り組むこと		○	○	
	第2節 近代国家の形成	グループワークに参加すること		○	○	
6月	第3節 国際関係の推移と近代産業の発展	講義を聞いて、ノートを取ることに	○			
		探求ノートに取り組むこと		○	○	
		グループワークに参加すること		○	○	
7・8月	第3節 国際関係の推移と近代産業の発展	講義を聞いて、ノートを取ることに	○			
		探求ノートに取り組むこと		○	○	
		グループワークに参加すること		○	○	
9月	第4節 第一次世界大戦と日本	講義を聞いて、ノートを取ることに	○			
		探求ノートに取り組むこと		○	○	
		グループワークに参加すること		○	○	

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第5節 軍部の台頭と戦争の長期化	講義を聞いて、ノートを取ることに	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
11月	第6節 日本の再建	講義を聞いて、ノートを取ることに	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
12・1月	第7節 経済の発展 第8節 経済大国とグローバル化	講義を聞いて、ノートを取ることに	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		地理歴史		科目名	世界史探究
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高等学校 世界史探究（第一学習社）
3	選択	3	90	補助教材	世界史探究ノート（第一学習社）
授業の概要		世界の歴史のおおよその流れを理解し、基礎・基本的な内容を身につける。あわせて、社会的な見方・考え方を働かせ、課題追求する活動を通して公民としての資質・能力を育成する。			
学習到達目標		複数の歴史的な事象を比較して、その歴史的背景、原因、影響や結果を整理し、考察できるようにする。過去の事象を学ぶことによって現代の課題を解決する手がかりを見つけ、自分なりの見通しをもてるようにする。			
求められる力（目指す生徒像）		基本的な歴史用語を理解する読解力と文章を比較・検討して考察する力を身につける。			

観点別評価（％）							
	定期試験	小テスト	提出物	授業姿勢			合計
知識・技能	50	10	40				100
思考・判断・表現	50	15	25	10			100
主体的に取り組む学習態度		20	20	60			100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1編 世界史へのまなざし	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
	第2編 諸地域の歴史的特質の形成	探求ノートに取り組むこと		○	○
	第2章 古代文明の歴史的特質	グループワークに参加すること		○	○
5月	第2章 古代文明の歴史的特質	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
6月	第3章 諸地域の歴史的特質	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
7・8月	第3章 諸地域の歴史的特質	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
9月	第3編 諸地域の交流・再編 第2章 結びつくユーラシアと 諸地域	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2章 結びつくユーラシアと 諸地域	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
11月	第4編 諸地域の結合・変容 第2章 世界市場の形成と諸地域の結合	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
12月	第2章 世界市場の形成と諸地域の結合	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
1月	第5編 地球世界の課題	講義を聞いて、ノートを取ること	○		
		探求ノートに取り組むこと		○	○
		グループワークに参加すること		○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		公民		科目名	政治・経済
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新政治・経済(実教出版)
3	必修	3	90	補助教材	なし
授業の概要		基本事項をしっかりと理解するとともに、現実の社会の出来事を原理・原則と比較して理解した上で、懐疑的な見方ができる能力をつけさせる。			
学習到達目標		参政権を持つ公民として時事的問題に目を向け、主体的に理想や理論・価値観を構築することができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		様々なメディアにでてくる言葉の意味を理解し、意識的にニュース(新聞・テレビなど)に興味を持つ主体性をもつ。			

観点別評価(%)								
	授業姿勢	課題提出	活動評価					合計
知識・技能		50	50					100
思考・判断・表現		50	50					100
主体的に取り組む学習態度	100							100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	民主政治と法 民主政治の基本原理 世界のおもな政治制度	聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○	○	
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○		○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと		○	○
5月	日本国憲法の基本原理 自由に生きる権利 平等に生きる権利	と・話し合うこと	○	○	
		と・話し合うこと		○	○
		と・話し合うこと		○	○
6月	社会権と参政権・請求権 新しい人権 平和主義と自衛隊	と・話し合うこと	○		○
		と・話し合うこと		○	○
		と・話し合うこと	○		○
7・8月	政治機構と国会 内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障	と・話し合うこと	○	○	
		と・話し合うこと	○	○	
		と・話し合うこと	○		○
9月	地方自治と住民福祉 政党政治 選挙制度	聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○		○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○	○	
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○		○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	経済主体と市場の働き 企業の役割 金融の役割	聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○	○	○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○		○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと・問題を解くこと	○		
11月	日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本経済の成長と課題	聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○		○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと		○	○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと・問題を解くこと	○		○
12・1月	中小企業と農業 消費者問題 労働問題と労働者の権利	聞くこと・ノートに書くこと・読むこと		○	○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと	○	○	○
		聞くこと・ノートに書くこと・読むこと・問題を解くこと		○	
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	数学Ⅲ
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学Ⅲ（数研出版）
3	選択	3	90	補助教材	
授業の概要		「数学Ⅱ」の内容を発展、充実させるとともに内容相互の関連を重視しながら体系的に解析学を学習する。理系大学進学希望者、数学に強い興味関心を持つ者対象。			
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。			
求められる力 （目指す生徒像）		極限、微分、積分の学習を通して解析学を学ぶ。あらゆる関数を使いこなす創造力と探究心、ノートやプリント演習などの作業に集中して取り組む主体性を身につける。			

観点別評価（％）							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	90	10					100
思考・判断・表現	60	10	20		10		100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20		100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数 第2章 極限 1. 数列の極限 2. 極限の計算	説明・問題演習・板書	○		○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習	○		○
		極限の計算ができる	○		○
5月	3. 無限等比数列 4. 無限級数 第2節 関数の極限 5. 関数の極限	説明・問題演習・板書		○	○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習 無限級数が求められる 関数の極限が計算できる	○		○
6月	6. いろいろな関数の極限 7. 関数の連続性 第3章 微分法とその応用 1. 微分係数と導関数 2. 積・商の導関数 3. 合成関数と逆関数の導関数	説明・問題演習・板書		○	○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習	○		○
		関数の連続性を理解する 積・商の微分ができる	○		○
7・8月	4. 三角関数の導関数 5. 指数関数の導関数 6. 対数関数の導関数 7. 第n次導関数 8. x, yの方程式で定められる関数の導関数	説明・問題演習・板書	○		○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習	○		○
		いろいろな関数の微分ができる	○		○
9月	9. 媒介変数で表された関数の導関数 第2節 微分法の応用 10. 接線の方程式	説明・問題演習・板書	○		○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習 接線の方程式が求められる		○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	11. 平均値の定理 12. 関数の増減 13. 関数の極大・極小 14. 関数の最大・最小 15. 関数のグラフ 16. 方程式・不等式への応用	説明・問題演習・板書		○	○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習 いろいろな関数のグラフが描ける		○	○
11月	第4章 積分法とその応用 第1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分 第2節 定積分	説明・問題演習・板書			
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習 不定積分が求められる	○ ○		○ ○
12・1月	4. 定積分とその基本性質 5. 定積分の置換積分法と部分積分法 6. 定積分と極限・不等式 第3節 積分法の応用 7. 面積 8. 体積	説明・問題演習・板書		○	○
		ﾊﾞｱｰｸﾞﾙｰﾌﾟﾜｰｸ・調べ学習 面積・体積が求められる		○ ○	○ ○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	数学B
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学B(数研出版)
3	必修	2	60	補助教材	3ROUND 数学Ⅱ+B(数研出版)
授業の概要		1年間通して、数学Bの第1章 数列、第2章 統計的な推測 の2領域を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。			
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。			
求められる力 (目指す生徒像)		数列や統計の学習を通して数式の活用や規則性について考える。数学的な見方や考え方を探究し続けるとともに、ノートやプリント演習など作業に集中して取り組む主体性を身につける。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入		合計
知識・技能	90	10					100
思考・判断・表現	60	10	20		10		100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1章 数列 第1節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列 3. 等差数列の和	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 等差数列の一般項、和が求められる	○		○
5月	4. 等比数列 5. 等比数列の和	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 等比数列一般項、和が求められる	○	○	○
6月	6. 和の記号Σ 7. 自然数の2乗の和	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 Σの計算ができる		○	○
7・8月	8. いろいろな数列の和 9. 階差数列	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 階差数列の一般項が求められる		○	○
9月	第2節 漸化式と数学的帰納法 10. 漸化式と一般項 11. 数学的帰納法	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 漸化式から一般項が求められる		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値 3. 分散と標準偏差	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 確率分布を求め期待値が求められる	○	○	○
11月	4. 2項分布 5. 2項分布と期待値・分散・標準偏差	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 2項分布について理解する		○	○
12・1月	6. 連続型確率変数 7. 正規分布 8. 2項分布の正規分布による近似	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 正規分布について理解する		○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	数学C
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	最新 数学C(数研出版)
3	選択	2	60	補助教材	3ROUND 数学C(数研出版)
授業の概要		1年間通して、数学Cの第1章 ベクトル、第2章 複素数平面の2領域を学習する。			
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。			
求められる力 (目指す生徒像)		ベクトル、複素数平面、式と曲線の理解とともに、横軸・縦軸を使いこなす創造力と探究心、ノートやプリント演習などの作業に集中して取り組む主体性を身につける。			

観点別評価(%)								
	単元テスト	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入			合計
知識・技能	90	10						100
思考・判断・表現	60	10	20		10			100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20			100

年間学習計画(前期)						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの和	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ベクトルの和・差・実数倍について理解する	○			○
5月	3. ベクトルの差 4. ベクトルの実数倍 5. ベクトルの成分 6. ベクトルの成分と演算	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ベクトルの和・差・実数倍とベクトルの成分について理解する	○ ○	○		○ ○
6月	7. ベクトルの内積 8. 内積の性質 第2節 ベクトルと平面図形 9. 位置ベクトル	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ベクトルの成分・内積・位置ベクトルについて理解する	○ ○	○ ○		○ ○
7・8月	10. ベクトルと図形 11. ベクトル方程式	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ベクトルを用いた図形や方程式について理解する		○ ○		○ ○
9月	第3節 空間のベクトル 12. 空間の座標 13. 空間のベクトル 14. ベクトルの成分と演算	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 空間ベクトルについて理解する	○	○ ○		○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	15. ベクトルの内積 16. 位置ベクトル 17. 空間図形への応用	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 空間ベクトルについて理解する	○ ○	○ ○	○ ○
11月	第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の和と差 3. 複素数の極形式	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 複素数平面について理解し、複素数の計算ができる	○ ○	○ ○	○ ○
12・1月	4. ド・モアブルの定理 5. 複素数と平面図形	説明・問題演習・板書 ペアワーク・グループワーク・調べ学習 ド・モアブルの定理を用いた複素数の計算ができる		○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		数学		科目名	総合数学
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	
3	選択	3	90	補助教材	アクセスノート 数学Ⅰ+A(実教出版)
授業の概要		数学Ⅰ・Aについて補助教材の問題集を利用して授業を展開する。			
学習到達目標		上級学校進学のために、数学ⅠAの解法の復習を通じて、高校数学の更なる定着と入試問題を解く学力を高める。			
求められる力 (目指す生徒像)		上級学校で学ぶ専門科目の中には、高校数学の解法力が必要とされるものもある。問題演習を通じて、「課題を理解し、解決への必要なアプローチを考え、解を導く」ことを目標に、主体性と探究心、継続力を養う。			

観点別評価(%)								
	単元テスト	小テスト	レポート・課題	授業姿勢	ノート記入			合計
知識・技能	90	10						100
思考・判断・表現	60	10	20		10			100
主体的に取り組む学習態度		20	30	30	20			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	<数学A>3章 図形の性質 20角の二等分線と線分の比 21三角形の重心・内心・外心 22フェルマ・メネラウスの定理 23円周角の定理とその逆 24円に内接する四角形	説明・問題演習・板書	○		○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習	○	○	○
		(数A)図形の性質について復習し、問題演習を行う	○	○	○
5月	25円の接線と弦のつくる角 26方べきの定理、2つの円 <数学Ⅰ>1章 数と式 03乗法公式 04展開の工夫 05～08因数分解	説明・問題演習・板書	○	○	○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習	○		○
		(数Ⅰ)数と式について復習し、問題演習を行う		○	○
6月	10実数・平方根 11根号を含む式の計算 12分母の有理化 13式の値・二重根号 14不等式の性質、1次不等式 15連立不等式、不等式の応用	説明・問題演習・板書	○	○	○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習		○	○
		(数Ⅰ)数と式・2次関数について復習し、問題演習を行う	○	○	○
7・8月	<数学Ⅰ>2章 2次関数 202次関数のグラフ 23～242次関数の最大・最小 25～262次関数の決定 27～282次方程式と実数解の個数 29～30放物線とx軸の位置関係	説明・問題演習・板書	○	○	○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習		○	○
		(数Ⅰ)2次関数について復習し、問題演習を行う	○	○	○
9月	31～322次関数のグラフと2次不等式 33連立不等式 <数学Ⅰ>3章 図形と計量 34～36三角比とその利用、性質 37～38三角比の拡張と符号 39～40三角比と角の大きさ、相互関係	説明・問題演習・板書	○	○	○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習		○	○
		(数Ⅰ)図形と計量について復習し、問題演習を行う	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	41～42正弦定理・余弦定理 43三角形の面積 44三角形の内接円と面積、内接四角形 45空間図形への応用 <数学A>1章 場合の数と確率 05～07順列	説明・問題演習・板書	○	○	○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習		○	○
		(数Ⅰ)図形と計量 (数A)場合の数と確率 について復習し、問題演習を行う	○	○	○
11月	08～10組合せ 11～14事象と確率、確率の基本性質 15独立な試行の確率 16反復試行の確率 17条件付き確率と乗法定理 18期待値	説明・問題演習・板書	○	○	○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習		○	○
		(数A)場合の数と確率 について復習し、問題演習を行う	○	○	○
12・1月	<数学Ⅰ>5章 データの分析 46データの整理、代表値 47四分位数と四分位範囲 48分散と標準偏差 49～50データの相関、外れ値、仮説検定 51変量の変換	説明・問題演習・板書	○		○
		ペアワーク・グループワーク・調べ学習	○	○	○
		(数Ⅰ)データの分析について復習し、問題演習を行う		○	○
2月					
3月					